

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕		円滑な議会運営及び活発な議員活動の支援(総合計画体系外)	②施策番号	0101
③まちづくりの方向〔政策(章)〕		—		
④基本施策〔施策大(節)〕		—		
⑤基本的方向〔施策中〕		—		
⑥担当部名		⑦担当課名		
議会事務局		議会事務局		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	市民、市議会議員
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	議会基本条例の趣旨を踏まえ、議会運営の活性化と市民に開かれた分かりやすい議会活動を目的に議会改革を進め、二元代表制の一翼を担う市議会の機能を十分に発揮する。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	地方分権の進展や人口減少社会の到来を踏まえ、住民自治の根幹をなす機関として、地域の実情に応じた効果的な議会機能の発揮が求められていることから、議会活性化の方向が顕著になりつつある。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方	
①	本会議等傍聴者数	人	市民の市政及び市議会に対する関心度を測る一つの物差しとするため。	
	計算式			
②	議員提出議案件数	件	議員活動の活性化に向けた取り組みの成果を測るため。	
	計算式			
③	ウェブサイト閲覧件数	件	市議会情報の認知度及び市議会運営に対する関心の度合いを測るため。	
	計算式			

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	本会議等傍聴者数	人	目標値	234	179	157	160	255	
			実績値	179	157	254	—	—	
			達成率	76.5%	87.7%	161.8%			
②	議員提出議案件数	件	目標値	4	4	4	4	5	
			実績値	6	8	4	—	—	
			達成率	150.0%	200.0%	100.0%			
③	ウェブサイト閲覧件数	件	目標値	—	21,000	21,000	21,000	24,000	
			実績値	20,521	22,228	24,755	—	—	
			達成率	—	105.8%	117.9%			

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	議会運営事業	本会議等傍聴者数	人	157	254	254	115,961	112,487	117,881	A	ア	○
2	議会活動補助事業	議員提出議案件数	件	8	4	4	3,331	3,715	4,858	A	ア	○
3	議会広報事業	ウェブサイト閲覧件数	件	22,228	24,755	23,632	10,592	12,375	13,066	A	ア	◎
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						129,884	128,577	135,805			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	市民の負託に応え、以て市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与することができる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	積極的な情報発信の効果により、傍聴者数並びにウェブサイトの閲覧件数は、増加傾向にあるが、議員提出議案については、件数自体も少なく、ほぼ横ばいで推移している。 このことから、今後は、議員の政策立案能力の向上を図るため、全議員が研修会等に参加できる環境整備を進めていかなければならない。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市議会は、市民の負託に応え、意思決定機関としての責任を果たしているが、今後は、市民に対し情報の公開や発信を積極的に行い、市民の市政への参加を推進していく必要がある。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	「市議会の機能を十分に発揮する」という施策目標を達成するための方策として、「議会運営」、「議員活動補助」並びに「議会広報」の3事業の構成及び数は、適正であると判断する。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	本市議会は、議会基本条例において、「市民の意思を幅広く市政に反映する議会」、「市民に開かれた議会」及び「市民と協同する議会」を目指していることから、市民に対し情報の公開や発信を積極的に行っていく必要があるため、【議会広報事業】を重点化すべきであるとする。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	- 市民への情報提供及び市民との情報共有の充実 - 議員の政策提言及び政策立案能力の向上 - 機動的な組織体制の構築	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	令和2年10月の市議会議員の改選後の議会運営を円滑に進められるよう、初当選の議員を対象とした説明会を実施する等、きめ細やかなサポートができるよう、事務局の体制をより充実・強化する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	タブレット議会により、更なるコスト削減を進める。 (完全なペーパーレス会議を実現するため、会議の傍聴者に対して、タブレットを貸与する。)
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	「市民に開かれた議会」を目指し、現在、行っている本会議の中継に加え、委員会のインターネットライブ中継及び録画放送を開始する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	WEBサイト閲覧件数、本議会等傍聴者数について一定数で推移しており、情報公開に向けた取組が適切に行われている。また、タブレットなどのIT機器導入による事務の効率化への取組が適切に進められている。 引き続き情報発信による「議会の見える化」への取組を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある